

**命をつなぐ、胡蝶蘭の新たな挑戦**

前任校の校長先生から、私の昇任祝いにといただいた見事な胡蝶蘭。これまで校長室で大切に飾り、毎朝その美しい佇まいから「今日も一日頑張ろう」と元気をもらってきました。

しかし先日、ついに最後の花が静かに落ちてしまいました。一瞬「私の管理が悪かったのだろうか」と焦りましたが、かねてから調べていた通り、これは決して枯れたわけではなく花の「寿命」。役割を終えた自然な姿でした。

そこで、かねてから温めていた計画を実行に移すことにしました。ネット情報で得た「二度咲き」への挑戦です。まずは思い切って、伸びていた茎を根元からハサミで切り落としました。これからの管理は、土が完全に乾ききってから少量の水をやる、というシンプルな作業の繰り返しです。こうしてあえて乾燥気味にして株を休ませることで、再び芽が出て花が咲くのだそうです。

正直なところ、「私の手で本当にまた咲いてくれるのだろうか」という不安は小さくありません。ネット上には多くの見事な成功例や「何度も咲かせている」という頼もしい体験談が載っていますが、実際に試すとなると毎日ハラハラしてしまいます。

しかし、表面的には変化がないように見えても、土の中や株の奥深くでは次の命を育むエネルギーが静かに蓄えられているはずです。これは、目に見える結果が出ない時期であっても、じっと力を蓄えながら次のステップへ進もうとする子どもたちの成長の姿とも重なる気がいたします。

いつかまた、あの美しい大輪の花を咲かせる日を信じて。不安と期待を胸に、この小さな挑戦を温かく、気長に見守っていきたいと思います。もし胡蝶蘭の栽培に詳しい方がいらっしゃいましたら、ぜひコツを教えてください。

**「茎は2～3cmを残しバッサリと」**

ネット情報の通り、忠実に対応しました。
まだ半信半疑です。

学級園で育てている野菜たちも、夜間侵入しているイノシシからの恐怖にさらされています。こちらも心配が付きません。

今年、この年齢になって初めて、栽培活動に挑戦している私です。いろいろと保険をかけておこうと、最近、妻と実家マンションのベランダでキュウリも育て始めました（笑）